

# 議 事 録

令和5年度 第2回北栄町地域福祉推進計画推進委員会	
日 時	令和5年10月26日(木) 13時30分～15時00分
場 所	北栄町農村環境改善センター 2階 大会議室
出席者 (委員)	長曾我部・中原秀・森田・有福・中井・遠藤・山本 (行政)中原教育総務課長・前田生涯学習課長
(事務局)	(町)小澤福祉課長・松嶋室長・菱井室長 (社協)金山局長・秋草係長・前田

## ○主な意見を抜粋したもの

1:開 会	司会/進行:小澤福祉課長	説明・意見者
2:あいさつ	委員長中途参加のため略	
3:議 事		
(1) 第2期北栄町地域福祉推進計画の改定について		
改定の流れ、アンケート・ヒアリングについて説明し、ご意見ご質問をいただいた。		
① 地域福祉推進計画の改定の流れ ② 住民アンケートの実施について ③ 自治会・団体・関係機関ヒアリングの実施について		事務局:菱井
②アンケートについて	○【問4】「あなたは何世代で同居されていますか。」は、単純に何世代か問う方が分かりやすい。 ○【問14】【問16】【問17】で「`地域福祉活動(=住民による身近な支え合い)」と表記されているので、【問15】も同一表記がよい。 ○【問25】は「ご意見をお書きください」、【問26】は「ご意見が <u>あり</u> ましたらお書きください」となっているが統一した方がよい。	山本委員
	⇒【問15】は表記を追記する。また、【問25】【問26】は「ご意見がありましたら」に統一する。 ⇒【問4】については、世代数だけで良いと思われるが、【回答2】は一人暮らしと区別するため、このまま残す。	事務局:菱井
	○【問4】の【回答2】「配偶者のみの1世代」よりも「配偶者との1世代」の方が分かりやすい。	森田委員
	○「あなたは」が無い設問もあり文章が統一されていない。	遠藤委員
	⇒【問1】以外の質問文から「あなたの」を外し分かりやすくする。 【問4】「あなたは」を外すと分かりやすくなるので、回答欄の表記は修正しないこととする。	事務局:菱井
	○これは最終版ではないので、細かいところまでチェックしながら進めていただきたい。	長曾我部委員長
	○前回アンケートの回収率はどうだったか。今回も同じような回収率を見込んでいるのか。	山本委員

	⇒前回は1,000枚中429枚を回収し、回収率は42.9%だった。今回も同等の数字を見込んでいる。	事務局：菱井
	○アンケート回収率は通常3割を超えたら良い方なので、42%超えは非常に高いと思う。	長曾我部委員長
	○前回のアンケートで、【問12】の【回答12】「相談する人がいない」を選択した人は何人位いたのか。	森田委員
	⇒前回アンケートでは「相談する先がない」という表記だったが、全体の1.4%だった。	事務局：菱井
	○その数字は想定内なのか、それとも予想外に多かったのか。	森田委員
	⇒前回と今回の結果を比較し数字の変化をみたい。増加していた場合は、相談先の周知徹底などをしていきたい。	小澤福祉課長
	○1.4%ということは、住民12,000として計算したら168人に該当する。そういう考え方もある。	山本委員
	○このアンケートの回答者も高齢者が増えていくだろう。高齢者が高齢者を介護するケースもあるので、先々を見通していけたらよいと思う。	森田委員
	○アンケート結果は当委員会などで共有したいが、2月の委員会に集計が間に合うか。	長曾我部委員長
	⇒アンケート集計と各団体のヒアリング結果を併せて、来年度の第1回委員会で報告する予定だ。報告後に現状や課題を討議し、結果を踏まえた上で計画の検討を進めていきたい。	小澤福祉課長
	○【問5】は、どういう目的の設問か。 ○成年後見制度に関する計画がアンケートに反映されているか。 ○オンラインアンケートに関するイメージを教えてください。	中原教育総務課長
	⇒【問5】の設問は、他の設問と兼ね合わせて調査していく中で、住居による違いなどの実態をみようということ。	事務局：菱井
	○クロス集計をして、回答にそれぞれ違いが出るかどうか見るとのことか。	中原教育総務課長
	⇒その通りだ。アパートの場合は自治会に加入していない人もあり、見守りや助け合い活動が進んでいない。そこを踏まえ、クロス集計をして実態を知るといった目的で設問している。	松嶋室長
	○一戸建てでも、持ち家か借家かの違いがあるので分かりにくい。	遠藤委員
	○借家でも、気持ち的には一戸建てとしてよいのではないか。	森田委員
	○アンケートを記入する立場になれば迷うと思う。一戸建て( <u>賃貸も含む</u> )としたらどうか。	山本委員
	⇒検討する。	松嶋室長
	⇒成年後見制度に関しては、選択回答欄に断片的にしか出てこないのので、アンケートで拾いきれない部分はヒアリングで課題を拾い上げ検討したい。	事務局：菱井
	⇒「オンラインアンケート」に関しては、QRコードを読み込んでネットで回答する「とっとり電子申請サービス」システムがある。	長曾我部委員長

	直近では企画財政課がこのシステムを用い「まちづくりアンケート」「買物アンケート」を行っている。資料によると18歳以上の12,154人に配布し、220人が電子アンケートで回答しているので、オンライン回答率は2%ということになる。	
	○高齢者が電子サービスを使用する場合、配信機器の設置が必要になるだろう。まずは、該当者の年代や、どの年代のどんな方が電子サービスを利用するのかを分析してみてもどうか。 ○成年後見制度に関しては周知することが課題だと思うので、そこも意識しながらアンケート調査を進めてほしい。	中原教育総務課長
	○18歳以上の1,000人を無作為抽出としているが、高齢者数が多いので偏らないように抽出年齢層の幅などは考えているのか。 ○以前「人権アンケート」を「電子申請サービス」でしたところ、回収率39%で、そのうちの12.1%が電子申請だった。電子申請を用いた場合は、同じような結果になるかと思う。	前田生涯学習課長
	○【問26】「設問以外のことで」は、【問1】から【問25】までを指しているのか、それ以外も含めてなのかが分かりにくい。 ○【問24】の選択回答欄にも表記されているのに、【問25】で「SOSを出しにくい人」だけを抽出して意見を求めている意図は何か。	中井委員
	⇒【問26】は分かりやすく「その他のご意見」と訂正する。 ⇒【問25】は、前回不十分だったので、今後重点的に取り組みたい部分になる。`障がい児、から`障がい者、に移行する過渡期に埋もれる人もいるので意見を聞き取り、第2期計画に含めたい。	事務局：菱井
	○【問25】は、その意図も含めて設問した方が分かりやすい。	中井委員
	○前回の結果から、孤立している人や高齢者買物支援など様々なSOSを出しにくい人がいることが分かったと思う。それらを踏まえて、SOSの発信の仕方や、全体的に思いついたことについて記入してもらえばいいのではないか。	遠藤委員
	○【問25】と【問26】は続いているのか。	中井委員
	⇒続いていない。【問26】は「その他」として全くの別設問である。	松嶋室長
	○中原課長が言われた通り、アンケートではあるが重層的支援や成年後見制度などのPRにも繋がるので、重要なキーワードはなるべく文言に入れてもらいたい。 ○意見にあったように、【問25】の前に「今後、町としてもより一層支援に力を入れていきたいと考えております。そこでお尋ねします。」というような前文があればよい。	長曾我部委員長
	⇒検討する。	松嶋室長
	○ヒアリング実施についてだが、自治会の選定はどのように行うか。 ○アンケートの周知についてはどのように進めるか。	中原秀委員
	⇒自治会は、中北条、下北条などの各地域からそれぞれ1自治会で選定する。	事務局：菱井
	⇒アンケートの実施については、町ホームページなどで周知されると思う。	長曾我部委員長

	○先ほどの前田生涯学習課長の無作為抽出の年代に関する質問の回答はどうか。	山本委員
	⇒前回同様、年代ごとの人口割合に応じて、どの年代からも満遍なく抽出する。	事務局：菱井
	○抽出された年代構成が、そのまま町の年代構成になるということか。	長曾我部委員長
	⇒おっしゃる通りだ。	事務局：菱井
③ヒアリングの実施について	○当事者団体「ひまわり会」の会長をしているが、どのようにヒアリングをするのかイメージがわからない。会員を集めて懇談会をすればよいのか。	中井委員
	⇒基本的には各代表者から聞き取りをする。当事者団体に関しては、次回11月6日の自立支援協議会で個別に聞き取りをさせてもらう。	事務局：菱井
	○それは団体を集めて一斉にするのか、それとも団体ごとに個別にするのか。もし個別であれば代表だけなのか、会員も含めてのヒアリングなのか。	中井委員
	⇒「幸の会」「ひまわり会」は、代表の方からのヒアリングを行う。	事務局：菱井
	○当事者団体に関しては、2団体の代表と一緒にヒアリングを受けるということか。	森田委員
	⇒当事者団体に関してはそういう形になる。それぞれの団体等に応じたヒアリング方法で進める。例えば民生児童委員協議会に関しては、ケアマネージャーとの懇談会で地域課題等について討議する機会があり、その内容を既にヒアリングさせてもらった。	事務局：菱井
	○自治会のヒアリングに関しては地域住民全員に声がけをするのか。	山本委員
	⇒自治会ごとの進め方によるが、まず自治会長に依頼して役員会等で参加の規模などは決めてもらう。基本的には地域住民向けのヒアリングを行う形になる。	事務局：菱井
	○前回のヒアリングでも団体へのヒアリングはあったのか。	長曾我部委員長
	⇒前はヒアリング対象団体数が少なかったので数を増やしている。	松嶋室長
4：連絡事項		
(1) 次回委員会の開催について		事務局：菱井
令和5年度の進捗管理ということで、2月下旬開催を予定している。その際に5年度の報告をし、皆様のご意見を伺いたい。		
5：閉会		
福祉課・小澤課長の挨拶で終了。		